

## 2. 地区別まちづくり方針

### (1) 東・中部・西部地区



人口	19,836 人
世帯	6,114 世帯
面積	994.3 ha

#### ■地区の概要

東・中部・西部地区は、東北自動車道の西側に位置し、公共施設、商店街、住宅地等を含む都市機能が集積する中心市街地である。

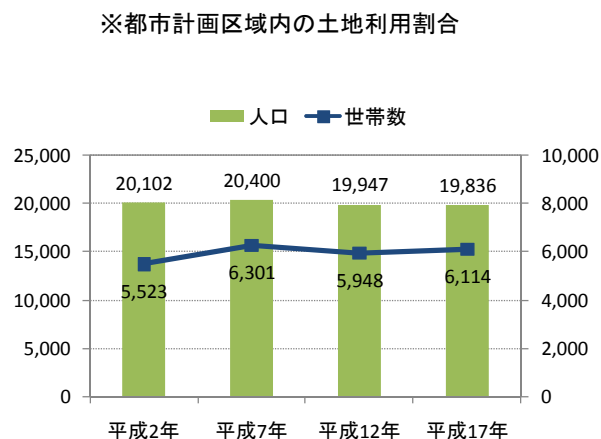
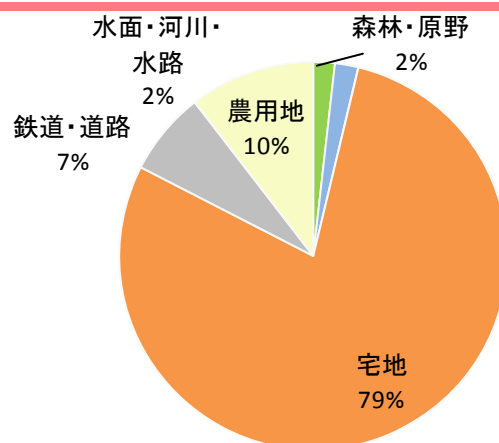
土地利用の割合を見ると、宅地が約8割を占め、農用地は1割程度となっている。

主な幹線道路としては、主要地方道大鰐浪岡線が地区内を通過している。鉄道は弘南鉄道が弘前と連絡している。

地区内の主な地域資源は、重要伝統的建造物群保存地区、スポカルイン黒石、産業会館、イベントとしては、黒石よされ祭り、黒石ねぷた祭り、旧正マッコ市などが挙げられる。

人口は、平成17年現在で19,836人であり、減少傾向となっている。世帯数は、平成17年現在で6,114世帯であり、平成12年からやや増加している。

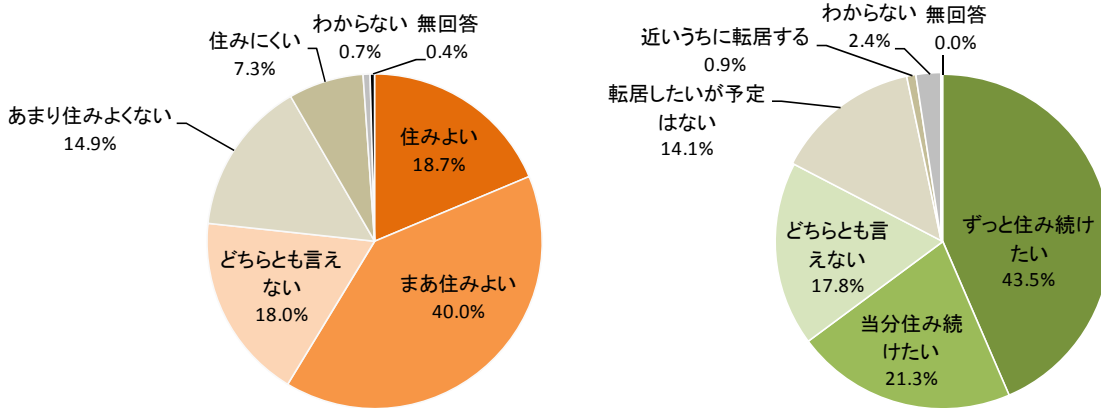
東・中部・西部地区の面積は994.3haで、地区全域が都市計画区域に指定されている。土地利用の状況を見ると、宅地が全体の約8割を占めている。



■地区住民のまちづくりの評価 《 アンケートから 》

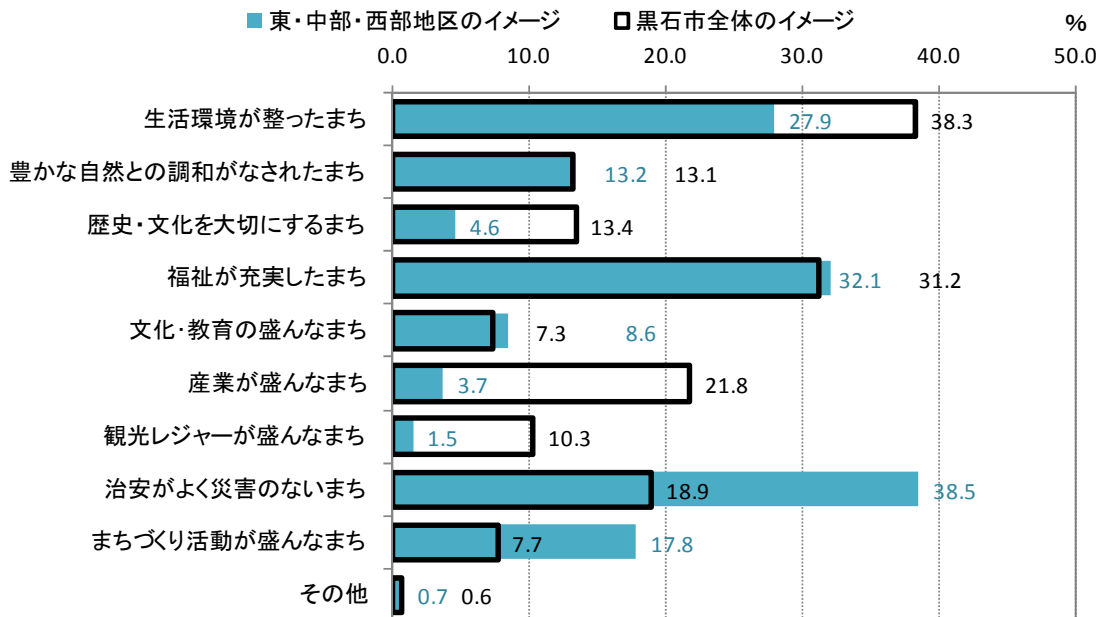
有効回答数：455票

【住み良さと今後の居留意向】



東・中部・西部地区では、「住みよい」と答えた人が18.7%、「まあ住みよい」と答えた人が40.0%おり、一方、「住みにくい」「あまり住みよくない」「どちらとも言えない」と答えた人が40.2%となっている。定住意向については、「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」と答えた人は64.8%、「転居したいが予定はない」と答えた人は14.1%となっている。

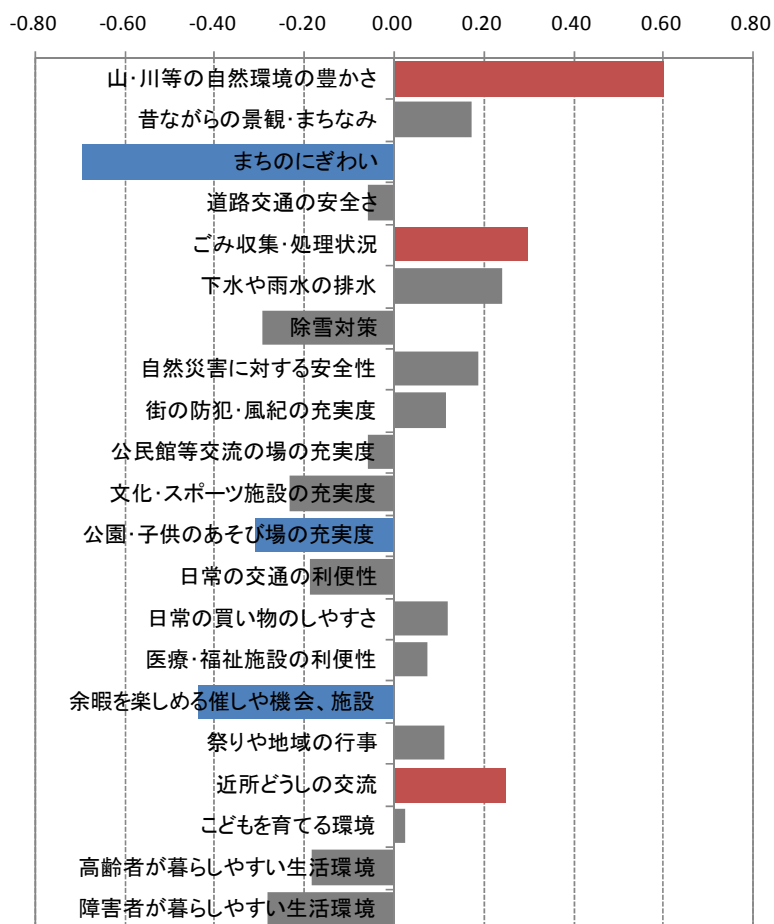
【20年後に期待するまちのイメージ】



「黒石市全体の将来イメージ」と「東・中部・西部地区の将来イメージ」についてアンケートを行った結果である。

黒石市全体では、「生活環境が整ったまち (38.3%)」、「福祉が充実したまち (31.2%)」、「産業が盛んなまち (21.8%)」が挙げられている。一方、東・中部・西部地区では「治安がよく災害のないまち (38.5%)」、「福祉が充実したまち (32.1%)」、「生活環境が整ったまち (27.9%)」が多く挙げられている。

【住環境での満足度】



満足度の高い項目と満足度の低い項目がほぼ半数となっている。  
 プラス評価の項目のうち最も満足度が高かったのは「山・川等の自然環境の豊かさ」であり、次いで「ごみ収集・処理状況」「近所どうしの交流」である。  
 一方、「まちなぎわい」「余暇を楽しめる催しや機会、施設」「公園・子どものあそび場の充実度」で満足度が低くなっている。

【自慢できるもの、将来に残し伝えたいもの】

祭り・催し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒石よされ祭り</li> <li>・黒石ねぷた</li> <li>・旧正マッコ市</li> </ul>	自然風景等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野のみみじ山</li> <li>・青荷温泉</li> <li>・虹の湖</li> <li>・東公園の桜</li> </ul>	特産物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご</li> <li>・地酒</li> <li>・こけし</li> </ul>
文化財	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要伝統的建造物群保存地区</li> <li>・中野神社</li> <li>・高橋家住宅</li> </ul>	文化・観光施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご研究所</li> <li>・浄仙寺</li> <li>・津軽こけし館</li> </ul>	※各項目の上位3位まで	

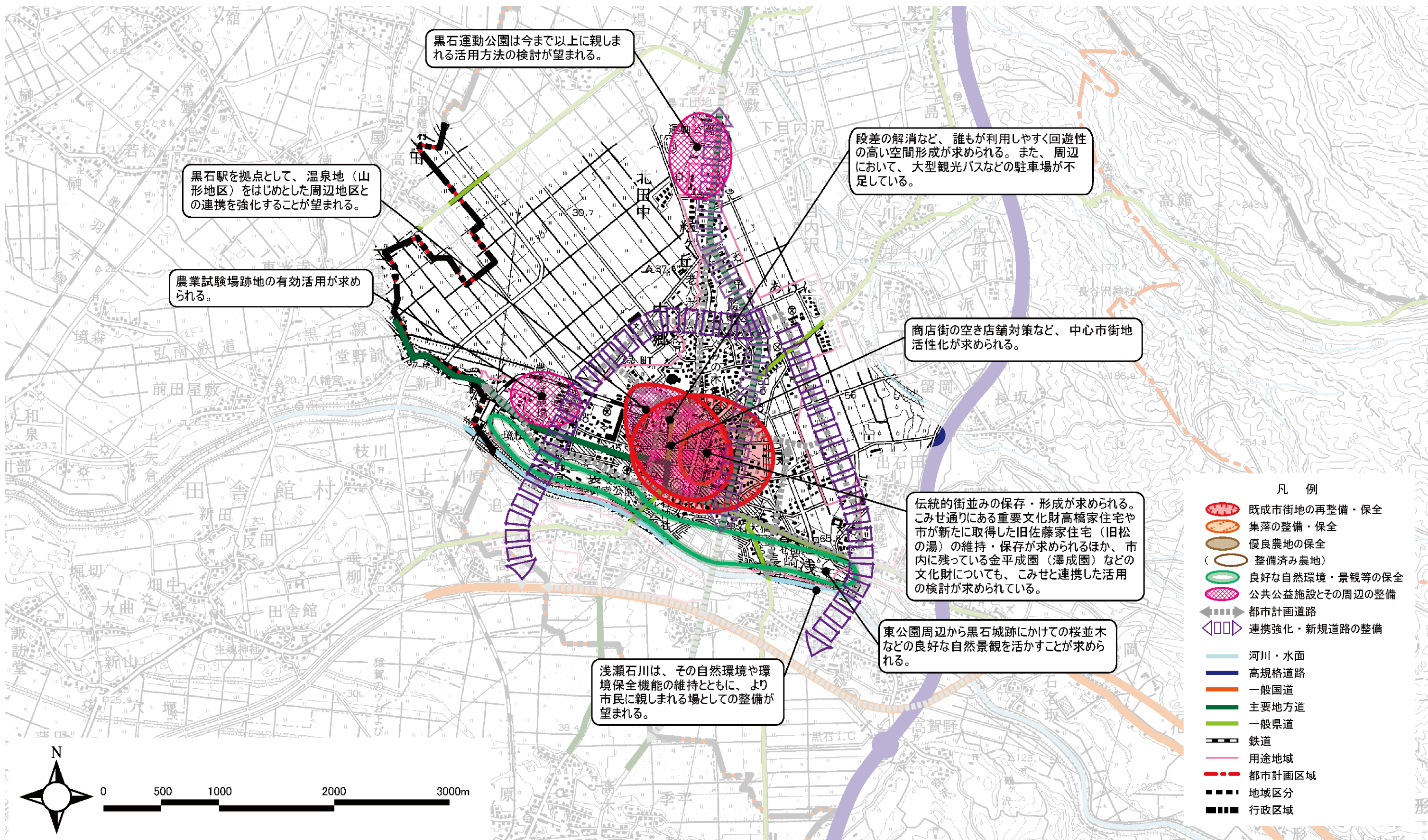
■現況写真

	<p>[農業試験場跡地]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広大な跡地の一部はいちごハウスなどとして活用されている。</li> <li>・ 辺りは一面開けた土地であり、岩木山などの眺望が広がる。</li> <li>・ 土地所有者は県である。</li> </ul>
	<p>[浅瀬石川河川敷周辺]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川敷にはサイクリングロードなどが整備されている。</li> <li>・ 河川沿いには閑静な住宅地が広がっている。</li> </ul>
	<p>[東公園周辺]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東公園は多くの木々に囲まれ、緑を感じられる癒しの空間となっている。</li> <li>・ 都市計画公園（地区公園）である。</li> <li>・ 浅瀬石川に対して高台になっており、眺めが良い。公園周辺道路には桜並木があり春には花見客でにぎわう。</li> </ul>
	<p>[黒石運動公園]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒石運動公園にはテニスコート、プール、陸上競技場や野球場など完備され、東北大会、県大会など各スポーツ団体による大会が開催されている。</li> <li>・ 近くにはアクロスプラザ（ショッピングモール）があり買い物等の利便性も良好である。</li> </ul>
	<p>[こみせ通り]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒石市の中心地のほぼ中央に位置し、重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、歴史・文化が感じられる空間が形成されている。</li> <li>・ こみせ通りは古くからの商店街となっている。</li> </ul>

■まちづくりの問題・課題

まちづくりのテーマ	まちづくりの問題・課題	まちづくりの動向
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要伝統的建造物群保存地区やその周辺の歴史的景観形成地区等においては、伝統的街並みの保存・形成が求められる。</li> <li>・旧市街地においては、未利用地が目立つ箇所も見られる。</li> <li>・中心市街地の衰退が激しく、商店街の空き店舗対策など、中心市街地活性化が求められる。</li> <li>・こみせを活用し、周辺の商店街とも連携を図り魅力ある空間形成が求められている。</li> <li>・農業試験場跡地の有効活用が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業試験場跡地の利用</li> </ul>
自然環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代からの伝統的な街並み景観の保存・継承が求められる。</li> <li>・浅瀬石川は、その自然環境や環境保全機能の維持とともに、より市民に親しまれる場としての整備が望まれる。</li> <li>・東公園周辺から黒石城跡にかけての桜並木などの良好な自然景観を活かすことが求められる。</li> <li>・北国の特性でもある、雪の有効利用について検討が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かぐじ広場整備</li> <li>・水のせせらぎの復活</li> </ul>
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こみせ通りを中心とした歴史的な街並みや景観を保存するために、通過交通を排除する道路整備などが望まれる。</li> <li>・こみせ通りの風情ある歩行空間について、段差の解消など、誰もが利用しやすく回遊性の高い空間形成が求められる。また、周辺において、大型観光バスなどの駐車場が不足している。</li> <li>・黒石駅を拠点として、温泉地（山形地区）をはじめとした周辺地区との連携を強化することが望まれる。</li> <li>・市街地において、狭隘な歩道や段差等の解消により歩行者・自転車の安全で快適な交通環境が求められる。</li> <li>・市内循環バスぷらっと号の利便性の向上が望まれる。</li> <li>・中心市街地活性化に向けた交通対策が求められる。</li> <li>・より適切な除排雪体制の充実による冬季の交通確保が望まれる。</li> </ul>	
施設整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こみせ通りにある重要文化財高橋家住宅や市が新たに取得した旧佐藤家住宅（旧松の湯）の維持・保存が求められるほか、市内に残っている金平成園（澤成園）その他の文化財についても、こみせと連携した活用の検討が求められている。</li> <li>・人々が集まることのできる施設（宿泊施設や結婚式場など）が求められている。</li> <li>・観光施設に対する案内が十分とはいえないため、案内板等の整備が望まれる。</li> <li>・黒石運動公園は、一部の人にしか利用されていないなどの意見があり、今まで以上に親しまれる活用方法の検討が望まれる。</li> <li>・老朽化した建物が多く、建物の耐震化などが求められる。またバリアフリーに配慮した施設整備が望まれる。</li> <li>・商店街には、気軽に利用できる喫茶店など、様々な業種の商店が望まれる。</li> <li>・東公園は、例えばイベント活動を行うなど、住民が身近に利用できるよう、活用方法の検討が求められる。</li> <li>・子どもが遊べるような身近な公園等のオープンスペースの確保が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧佐藤家住宅（旧松の湯）の活用</li> </ul>

【まちづくりの問題・課題図】



## ■まちづくりの方針

## ◎まちづくりのテーマ

『どさ、そこさ 気軽に行ける、こみせのあるまち』

## ◎まちづくりの基本方針

- ・江戸時代以来継承されてきた歴史的文化遺産や都市構造、そこに培われてきた文化・伝統は東・中部・西部地区のみならず黒石市の貴重な財産であり、これらの維持・保存に努めるとともに、市民の生活と観光が融合したまちづくりをめざす。
- ・独自の魅力を持つこみせを活用し、以前の賑わいがあったこみせの復活をめざして、地区の特色を活かした街並み整備と観光資源のネットワーク化の推進を図る。
- ・本市の顔としての役割を果たす商業・業務機能に加え、文化・交流・観光レクリエーションなどについて滞在時間が長くなるよう、その機能の充実を図り、中心市街地の活性化に取り組む。また、利便性の高い住宅地としての環境整備を推進し、にぎわいと魅力のあるまちづくりをめざす。

## 【土地利用】

こみせなどの重要伝統的建造物群保存地区を中心とした良好な街並みを維持していくため、現在の生活環境の維持・改善に配慮しながら、先人から受け継いできたかけがえのない黒石の街並みを大切にし、歴史的景観の保存整備を推進する。また、かぐじ等を活用した黒石独自の回遊性のあるオープンスペースを確保し、店舗等と一体となった活気とにぎわいのある空間形成を図る。

住宅地を中心とした既成市街地においては、歩行者空間の確保など安全対策の充実を図るとともに、建築協定や地区計画等の活用を検討し、地区環境の改善を図る。

主要地方道大鱈浪岡線を軸とした幹線道路沿線は、後背地の住宅環境に配慮しつつ、生活利便性を向上させるための店舗等の立地誘導を図る。

用途地域が指定されていない地区に一部住宅の立地が見られることなどから、適切な用途地域指定のあり方を検討する。

## 【自然環境・景観】

重要伝統的建造物群保存地区における歴史的建造物は保存および継承していく。歴史的景観形成地区等についても、重要伝統的建造物群保存地区と連携し、黒石を特徴づける歴史的景観の形成を図る。

浅瀬石川や東公園周辺、黒石城跡、小阿弥堰（浅瀬石川と御幸公園の間を流れる農業用水）などは、その自然環境や環境保全機能の維持を図るとともに、市民や観光客に親しまれる空間の形成を図る。

また、北国特有の雪を観光資源等として有効利用する方策を検討する。

### 【道路・交通】

中心市街地や主要観光施設を結ぶ道路については、黒石らしい歴史的な街並み景観に配慮した整備や緑化を検討し、調和のとれた景観の形成を図る。

地域幹線道路や地域交流道路は、歩道の段差解消等、安全性の高い歩行者・自転車空間の形成を図る。

長期未着手の都市計画道路については、社会状況の変化を踏まえ、現時点におけるその必要性を再検証し、事業の見直しを図る。

黒石駅の拠点としての機能を強化し、弘南鉄道、市内循環バスぷらっと号をはじめとした公共交通の利便性向上を図る。

こみせ通り周辺において、大型観光バスの駐車場の確保について検討する。

また、より適切な除排雪体制の充実による冬季の交通確保を図る。

### 【施設整備、その他】

黒石運動公園や東公園は、本市を代表する公園として利用を促進する。また、老朽化が進む施設の再整備等のあり方について検討を行う。さらに、子どもが遊べるような身近な公園等のオープンスペースの確保を図る。

こみせ通りにある重要文化財高橋家住宅や市が新たに取得した旧佐藤家住宅（旧松の湯）維持・保存に努めるとともに、市内に点在する金平成園（澤成園）その他の歴史的文化遺産についてもこみせと連携した活用方策を検討する。

大規模施設の跡地について、その利用方策を検討する。

老朽化した建物の中には歴史的に重要なものもあり、保存すべき建物は補強や修繕に努め、その他の建物は、街並みを損なわないような建て替え等を誘導する。

各観光施設の利用促進のため、案内板の設置やインターネットを活用した情報提供システムなどの充実を図る。

まちなか居住の促進のため、空き家情報の提供等、空き家の有効活用に向けた方策を検討していく。



【まちづくりの方針図】

